

■「幼児期から続くひどい口臭が劇的に改善したケース」

日本ホメオパシーセンター豊中緑地公園

JPHMA 認定ホメオパス No. 0992

ZEN メソッド修得認定 No. 0405

JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No. 0429

古林 幸子（こばやし さちこ）

【クライアント・主訴】

クライアント：22歳 男性

主訴：幼児期から続くひどい口臭、外反母趾

2～3歳の幼児期より生ごみの様な口臭があるが、その頃は好き嫌いも多く、主に食べられるものとしては、ご飯、麺、パン等の炭水化物にみそ汁、おやつのみだった。現在好き嫌いはなく、口臭の悪臭度合いはかなり強く、車に同乗するだけでも車内に漂う口臭はきつく、顔を向けて近くで話されると息を止めたくなる程で、かなりの苦痛を伴う状態。レベル0～5段階のタニタの口臭チェックカーでは、家族がレベル1～2のところ、クライアントは最高レベル5だった。本人はひどい口臭がある事に気付いていない。虫歯はなく、口呼吸をしている様子もなく、口腔内の環境に明らかな問題は感じられない。また、鼻炎や便秘もない。外反母趾は高校生の頃より母指球の変形を認めるが疼痛はなく、本人はそれほど気にしていない。

【タイムライン】

予防接種は全て接種

3歳 小児喘息（中学生以降は症状消失）

6歳 おたふく風邪

7歳 アトピー（中学生以降は症状消失）

17歳 外反母趾が気になりはじめる

体質・外見：中肉中背。額にしわがある。よく鼻をかむ。運動は好き。太陽が好き。月が好き。春が好き。締め付けのある服が嫌い。

性格：おとなしい。慎重な性格。真面目。

好きな食べ物：オレンジジュース。外食時には必ず頼む。

家族の病歴：父：脂肪肝 父父：肝臓がん 父母：肝炎 母父：胃癌 母母：バセドー病

(1回目処方 2018/3/22)

随時：MT)Thuj-V0 +Bry.6c +Nit-ac.6c +Kali-c.6c +Carb-v.6c +Sep.6c

500mlの水に10～15滴

朝	: Ars. LM1	コップ 2cm の水に 2 滴
昼	: Carc. LM2	コップ 2cm の水に 2 滴
夜	: Puls. LM3	コップ 2cm の水に 2 滴

※Thu-j-V0/予防接種と遺伝的傾向、Bry./ブリオニア、Nit-ac./硝酸、Kali-i./ヨウ化カリウム、Carb-v./植物炭、Sep./イカ墨、Ars./ヒ素、Carc./ノゾース、Puls./セイヨウオキナグサ

(選択の根拠)

好き嫌が多く、歯磨きもしっかりしていた幼児期からの口臭は口腔内の問題が原因だとは考えにくく、予防接種からの重金属の蓄積による可能性があると考え、重金属への対応を中心に、口臭に相性の良いレメディーを選択。外反母趾は痛みもなく、本人も重きを置いていないため、より切実な問題である口臭を中心に TBR で選択。

【TBR】：上記の症状に対し TBR (The Bonninghausen repertory の略) を使って検索

1 : 210# 1. 部位 - 1. 頭部 - 11. 口(および咽頭) - 口からの臭気、ひどい(口臭) ;
 2 : 1897# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) ;
 3 : 1842# 4. 基調 - 1. 基調 - 4. 飲食物から - 水 - 冷たい、好転 ;
 4 : 295# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 足 : - 母指球(中足指節骨の隆起) ;

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4
1	Puls.	4	13	3	3	3	4
2	Bry.	4	10	3	1	3	3
3	Laur.	4	8	1	4	2	1
4	Ars.	4	8	3	2	1	2

MT) Thu.j. V0 予防接種の影響に対して。重金属の蓄積により口臭が出ていると考え選択。

Bry. TBR 2 位。口臭 3 度では 11 個あるうちのひとつ。母指球についても 3 度。

Nit-ac. 【CK#402 口から腐敗臭がする。】という点で合致している。

Kali-i. 【Allen#251 口からひどい悪臭がする息。このせいで本人も吐き気を催すほど。】という点が、本人は吐き気を催すほどではなくても、近くの人が吐き気を催すくらい口臭のため、口臭の程度が似ていると思い選択。

Carb-v. 口臭 4 度は Carb-v. と Merc. のみであり、全体像から Carb-v. の方がより合うと考え選択。

Sep. 【CK#492 口から悪臭。】口臭 3 度であり、母指球以外の項目は 3 度と 4 度と高いため選択。

Ars. TBR が鉍物では 1 位。口臭にも 3 度で、抗癌マヤズムレメディーでもある。

Carc. 几帳面な性格で、家族も癌マヤズム傾向。

Puls. TBR1 位。性格的な弱さが合っている。

(経過)

初回のレメディーで、口臭は驚くほどに改善した。多少口臭を感じることはあると母親は言っていたが、ほとんど気にならない程度。車に同乗しても不快な口臭に気が付かない程度で、家族はとて驚いている。外反母趾は元々痛みがなく、特に変化は見られない。

(2回目処方 2018/6/5)

随時： サポート φ腸内細菌 +K-OPP-Kabikill +Iod. 6c +Amber. 6c +Graph. 6c +Bry. 6c	
500ml の水に 10~15 滴	
朝	： Ars. LM2 コップ 2cm の水に 2 滴
昼	： Tub. LM3 コップ 2cm の水に 2 滴
夜	： Puls. LM4 コップ 2cm の水に 2 滴

※K-OPP-Kabikill/防カビ剤、Iod. /ヨウ素、Amber. /龍涎香、Graph. /天然黒鉛、Bry. /ブリオニア、Ars. /ヒ素、Tub. /ノゾース、Puls. /セイヨウオキナグサ

(選択の根拠)

口臭はかなり改善しているが、まだ多少感じることもあるために引き続き口臭を中心に選択し、口臭の度数の高いレメディーを選択。朝がまだ口臭を感じるがあると母親からの情報がある。また、朝に鼻水がよく出る事、最近お腹いっぱいになるまで食べてしまうとの事。出かけることが好きだが、外反母趾が動くことで少し痛みを感じるとの発言があった。口臭、母指球の痛みに、現在の症状を TBR で選択。

- 1 : 210# 1. 部位 - 1. 頭部 - 11. 口(および咽喉) - 口からの臭気、ひどい(口臭) :
- 2 : 625# 2. 系統 - 4. 呼吸器 - 6. 気道分泌物(鼻汁および痰) - 水っぽい(薄い) - 鼻汁 :
- 3 : 1687# 4. 基調 - 1. 基調 - 1. 時間 - 朝に :
- 4 : 1897# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) :
- 5 : 1021# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 動くこと(動作) - を欲する :
- 6 : 1905# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 食べる、前(胃が空っぽのとき、断食) : - 満腹(充足)するまで食べることから : - 好転 :
- 7 : 295# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 足 : - 母指球(中足指節骨の隆起) :
- 8 : 2047# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 運動(動作、動き) - の間:(+好転 休息[休養]) :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Ars.	8	14	3	2	1	2	2	1	2	1
2	Rhus.	7	17	1	1	4	3	4		3	1
3	Iod.	7	16	2	1	2	4	1	3		3

φ腸内細菌 幼児期からの口臭は、口臭がしそうな食材が食べられない頃からのものであり、

口腔内からではなく内臓からによるものだと考える。腸内細菌が減少することで分解しきれない老廃物が腐敗して口臭の原因となることも考える。また、腸内細菌の乱れる原因として、遺伝子組み換え、防カビ剤等の入った食品を多く摂取していた可能性もあり、腸内細菌に焦点を当てた。

K-OPP-Kabikill オレンジジュースが大好きなので、防カビ剤を多量に体内に取り込んでいる可能性があり選択。

Iod. TBRは3位で、満腹まで食べるが3度だったため、最近の傾向から。また、出かけるのが好きな傾向が合致する。祖母がバセドー病でもあり、遺伝も踏まえて選択。抗結核マヤズムレメディアーでもある。

Amber. TBR4位 【ファタック MM：不快感を与える息】というところで合致している。

Graph. TBR7位、口臭、母指球共に2度。

Bry. TBR8位 口臭3度。【RA#232 口から腐ったようなにおいがする。】外反母趾の動くとき悪化という部分でも合致。【RA#578 足の母指球に刺痛と圧迫感、外部にも痛み、霜焼けのよう。】という点でも合致。

Ars. TBR1位 前回処方による症状の改善からも合っていたと考える。

Tub. 骨の問題があることから選択。食欲が旺盛でもある。

Puls. 本人の気が付かない口臭という点で合致し、口臭4度。前回処方による改善からも合っていると考え。

(経過)

口臭は、更に軽減している。冷たい飲み物で、有痛性の下痢をするようになってきた。母親より、口臭の感じが父親に少し似ているとの情報がある。外反母趾は変化なし。朝の鼻水は軽減している。

(3回目処方 2018/10/23)

随時： サポートφ腎臓+Morg-g. 30c +Puls. 6c +Rhus-t. 6c +Sulph. 6c +Kali-c. 6c
500mlの水に10～15滴

朝： Merc-sol. LM3 コップ2cmの水に2滴

昼： Tub. LM4 コップ2cmの水に2滴

夜： Spig. LM5 コップ2cmの水に2滴

※Morg-g./腸内細菌、Puls./セイヨウオキナグサ、Rhus-t./アメリカツタウルシ、Sulph./硫黄、Kali-c./炭化カリウム、Merc-sol./ハーネマンの溶解水銀、Tub./ノゾース、Spig./セッコソウ

(選択の根拠)

口臭は更に改善し、本格的に水銀の影響に対処しなかったが、好転反応に対する本人の怖さがあり拒否されたため、今回は口臭をメインに水銀の影響への対処も考慮しながら、今ある症状をTBRで選択。

- 1 : 210# 1. 部位 - 1. 頭部 - 11. 口(および咽頭) - 口からの臭気、ひどい(口臭) ;
- 2 : 295# 1. 部位 - 3. 体肢 - 2. 下肢 - 足 : - 母指球(中足指節骨の隆起) ;
- 3 : 2084# 4. 基調 - 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 圧力(外圧、圧迫、など)から ;
- 4 : 422# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 9. 排便および大便 - 下痢 : - 有痛性の ;
- 5 : 1841# 4. 基調 - 1. 基調 - 4. 飲食物から - 水 - 冷たい ;

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5
1	Rhus.	5	13	1	3	1	4	4
2	Spig.	5	12	2	4	1	2	3
3	Ars.	5	12	3	2	1	3	3
4	Puls.	5	12	3	4	1	3	1

φ腎臓 骨の問題がある。また、腸内細菌は遺伝によるものとも考えられ、先天の気である腎により受け継がれているとも考えられるため選択。

Morg-g. 腸内細菌をもう少し整えることを目的として選択。

Puls. TBR 4位。意思が弱い部分が性格的に合う。

Rhus-t. TBR 1位。有痛性の下痢、冷たい水で悪化では4度であり、母指球にも合う。

Sulph. 口臭3度であり、よりエネルギーアップをはかり選択。

Kali-c. TBR 鉱物2位。結核マヤズムの根本レメディーであり、不足しやすいため。

Merc-sol. TBR 9位。水銀の解毒のために選択。口臭の原因は重金属によるものだと考えられるが、水銀は病気の大元とも言われる。

Tub. 骨の問題があることから選択。また、下痢にも合う。

Spig. TBR 2位。口臭にも母指球にも合う。

(経過)

口臭は、ほとんど感じられないほどになった。外反母趾は特に変化がみられなかった。口臭がなくなったことを本人よりも家族が喜んでいる。本人はそんなに口臭がきついとは知らなかったようだが、今まで周りに迷惑をかけていたのではないかと気にしていた。下痢は消失。

口臭チェッカー(0~5レベル)は途中の紛失により測定できずにいたが、ホメオパシー終了1年半後に見つかって測定すると、ホメオパシー開始前5レベルだったクライアントは0~1レベル。家族は以前と変わらず1~2レベルだったことから、クライアントの口臭が改善した状態を維持していたことが確認できた。

【結果】

1 回目の処方では、予防接種による重金属への対処をメインとして選択したこと、性格的な問題からの Puls.、その他口臭に着目したレメディー選択により幼児期から続いた悪臭の口臭が一気

に改善した。

2 回目の処方では腸内細菌を中心に考えたレメディー選択を行ったことにより、更に口臭は改善した。

3 回目の処方では、骨の問題もあり、先天の気の弱さや遺伝的傾向から腎臓サポートを中心に口臭に焦点を当てたレメディーを選択したことで、口臭はほぼ感じられないほどになった。

また、ホメオパシー終了 1 年半後の口臭チェッカーの数値により、口臭の再発は認められなかった。

【考察】

好き嫌いが多く、ごはん、麺類、みそ汁、おやつしか食べられない幼児期から続くひどい口臭は珍しく、単なる口腔内の問題ではないと考え、予防接種への対処から始めたことで重金属の排出を促すことができ、口臭は一気に改善が認められた。このことから、重金属の蓄積が幼児期から続く原因不明の口臭を発する大きな原因の一つだったと考える。また、腸内細菌の状態が悪い場合は、老廃物を処理しきれずに腐敗臭のガスを発生するため、腸内細菌レメディーの選択をしたが、その後更に口臭の改善を認めたことから、腸内細菌へのアプローチも口臭には効果があったと考える。腎臓サポートは先天の気の弱さや骨の問題、遺伝的な部分からも合っていたと考え、マヤズムで選択した Carc. や Tub. も、周りの人たちを気にする性格や関節痛の状態からは本人に合っていたことから口臭の改善に繋がったと考える。

今回のような幼少期から続く病的な口臭は、現代医療では検査費用もかなり高額で、根治的な治療は難しいとされる中、ホメオパシーの有効性が確認された症例となった。

【参考文献】

サミュエル・ハーネマン：『クロニク・ディジーズ（CK）慢性病論マテリア・メディカ』/CHhom 訳 由井寅子監修 CHhom 2013.

サミュエル・ハーネマン：『マテリア・メディカ・プーラ（RA）純粹マテリア・メディカ』/CHhom 訳 由井寅子監修 CHhom 2014.

ティモシー・アレン：『エンサイクロペディア・オブ・ピュア・マテリア・メディカ アレンの純粹マテリア・メディカ百科（Allen MM）』/CHhom 訳 由井寅子監修 CHhom 2014.

S.R. ファタック：ファタックのマテリア・メディカ/由井寅子監訳 ホメオパシー出版 2010.

本田俊一：誰も書かなかった口臭症治療のすべて もう、口臭で悩まないで！ アーク出版 2015.

渡辺豊：口臭の 95%は思いすぎし 三五館 2015.

カテゴリー：[薬剤等からの影響]